



ひぜん 経営レポート

2020・9・30



■主要勘定(預金・貸出金)の状況

預金・貸出金 科目別残高

預金は「お客様からの信頼の証」。貸出金は「お客様へ貢献の証」

中間期末の預金残高は、前年同期比137億円増の1,561億円。貸出金は44億円増の847億円と、それぞれ大幅に増加しました。

■預金内訳

(単位：百万円)

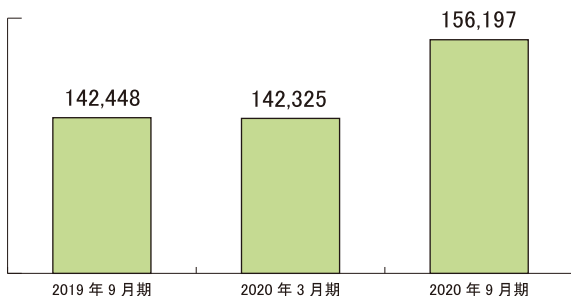
	2019年9月期	2020年3月期	2020年9月期
流動性預金	47,627	48,519	57,995
定期性預金	94,821	93,806	98,202
定期預金	90,634	89,623	94,012
定期積金	4,186	4,182	4,189
合計	142,448	142,325	156,197

■貸出金内訳

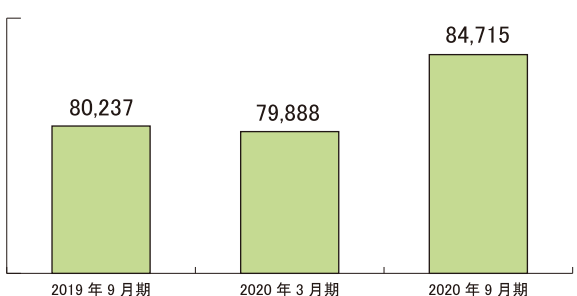
(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年3月期	2020年9月期
割引手形	323	350	248
手形貸付	4,688	4,521	3,621
証書貸付	70,228	70,873	76,258
当座貸越	4,997	4,142	4,586
合計	80,237	79,888	84,715

預金積金残高の推移 (単位：百万円)



貸出金残高の推移 (単位：百万円)



貸出金業種別残高

(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年3月期	2020年9月期
製造業	2,634	2,653	3,333
農業、林業	345	348	328
漁業	120	132	98
鉱業、採石業、砂利採取業	69	63	69
建設業	7,212	6,849	9,021
電気・ガス・熱供給・水道業	80	77	85
情報通信業	65	66	62
運輸業、郵便業	627	593	781
卸売・小売業	7,164	6,890	7,791
金融業、保険業	1,180	1,170	1,288
不動産業	15,069	15,060	15,150
物品賃貸業	526	523	566
学術研究、専門・技術サービス業	88	82	183
宿泊業	2,934	3,000	3,314
飲食業	2,294	2,297	2,698
生活関連サービス業、娯楽業	1,842	1,783	2,015
教育、学習支援業	615	597	635
医療、福祉	4,248	4,241	4,210
その他のサービス	3,524	4,065	4,423
小計	50,646	50,499	56,059
地方公共団体	6,205	5,885	5,586
個人	23,384	23,503	23,068
合計	80,237	79,888	84,715

損益の状況

(単位：千円)

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
経常収益	1,241,544	1,243,150	1,241,700
業務収益	1,189,040	1,233,082	1,196,713
うち資金運用収益	1,071,162	1,076,970	1,072,954
その他経常収益	52,504	10,068	44,986
経常費用	1,134,709	1,126,395	1,024,772
業務費用	1,039,298	1,057,332	1,023,429
うち資金調達費用	52,376	38,289	38,745
うち経費	849,012	864,759	819,796
その他経常費用	95,411	69,063	1,342
経常利益	106,834	116,755	216,928
業務純益	149,742	175,750	173,283
実質業務純益	144,471	184,166	173,283
業務粗利益	993,483	1,048,926	993,080
コア業務純益	131,124	133,973	173,192
コアコア業務純益	131,124	131,060	143,703
当期純利益	91,037	95,046	196,774

中間期の純利益は1億9,677万円を計上しました。

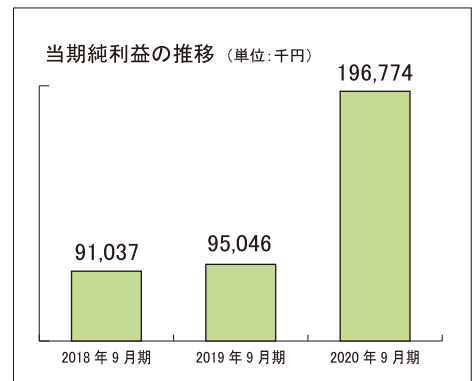
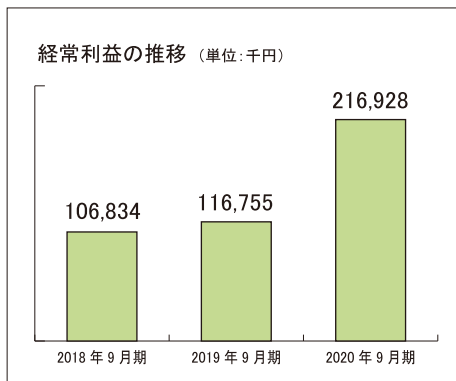
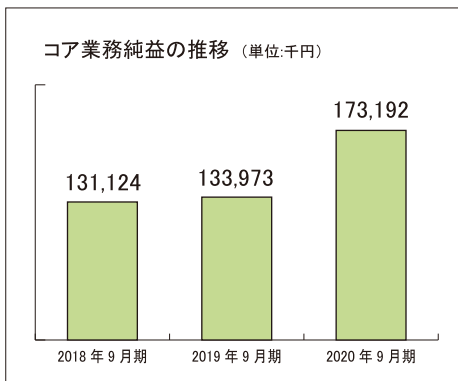
収益面については、貸出金利回りの低下により、資金運用収益が減収となった結果、経常収益は減収となりました。

一方の費用面では、コロナ禍の中、交際費等の事業費削減や退職給付引当金の減少による、経費圧縮や与信コストの圧縮効果により、経常費用が減少しました。この結果、経常利益は216百万円、当期純利益は、前年同期比101百万円増益の196百万円となりました。

なお、金融機関の本来的な収益力を示すコア業務純益は173百万円となりました。

※コアコア業務純益＝

コア業務純益から投資信託解約損益を除く



自己資本比率の状況(国内基準)

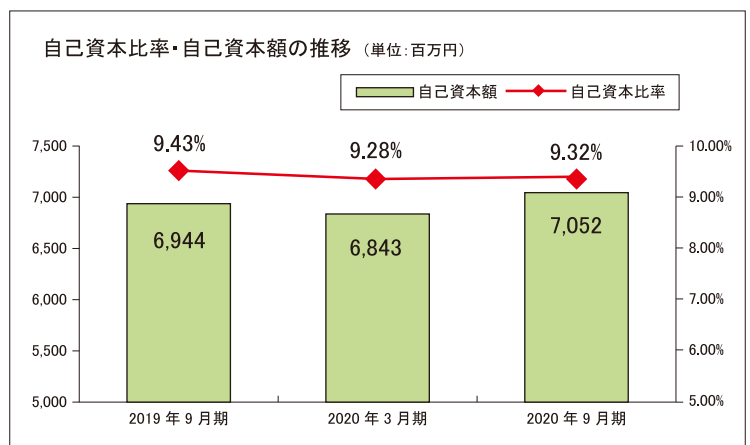
(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年3月期	2020年9月期
コア資本の額	6,944	6,843	7,052
リスク・アセット等計	73,520	73,721	75,548
単体自己資本比率	9.43%	9.28%	9.32%
総所要自己資本額	2,940	2,948	3,021

「単体自己資本比率」9.32%程度。
ひげしんは健全経営を続けております。

自己資本比率は、リスクの可能性のある資産に対して自己資本がどれだけあるかを示す指標で、金融機関経営の健全性・安全性を示す指標です。

当金庫の2020年中間期の自己資本比率はバーゼルⅢ適用の影響もあり、9.32%と前年同期比で僅かに低下しましたが、自己資本額は109百万円増の7,052百万円を確保しており、国内基準である4%を大きく上回る水準となっております。この水準は、ひげしんの経営が健全かつ安全であることを示しております。



■資産運用の状況

不良債権の状況(金融再生法)

(単位：百万円)

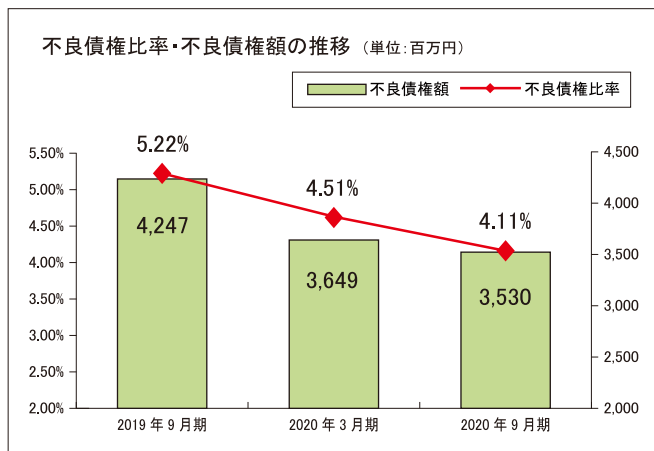
開示債権区分	2019年9月期	2020年3月期	2020年9月期	2020年9月期	
				担保・引当金等による保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,396	2,253	2,161	2,161	100.00%
危険債権	1,413	1,004	1,008	694	68.86%
要管理債権	438	391	360	167	46.46%
不良債権計	4,247	3,649	3,530	3,023	85.64%
正常債権	77,025	77,262	82,159		
合計	81,273	80,912	85,690		
不良債権比率	5.22%	4.51%	4.11%		

「不良債権比率」4.11% 「保全率」85.64% 不良債権に十分な対応をはかっております。

ひぜしんでは、金融検査マニュアルに準拠した自己査定基準に沿って、適性かつ厳格な自己査定を行なっております。

2019年度末に積極的な不稼働資産の処分を行ったこともあり、中間期の不良債権額は前年同期比で717百万円減少し、金融再生法ベースでの不良債権比率は4.11%と低下しました。

なお、担保・貸倒引当金により、不良債権の85.64%を保全しており、内部留保とあわせて十分な対応をはかっております。



有価証券の時価開示

(単位：百万円)

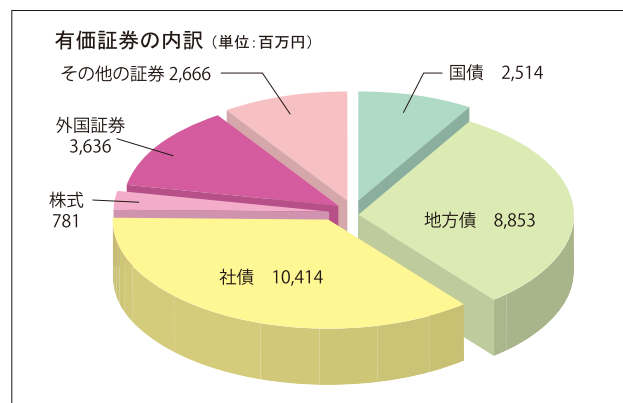
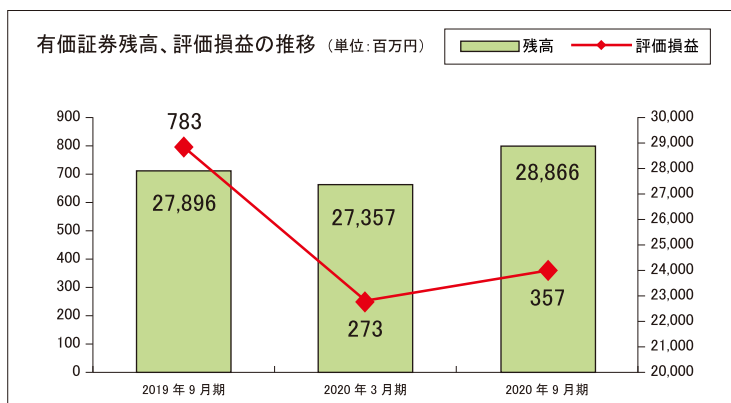
その他保有 目的で時価 のあるもの	2019年9月期				2020年3月期				2020年9月期			
	貸借対照 表計上額	評価差額			貸借対照 表計上額	評価差額			貸借対照 表計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
株式	656	△ 88	12	100	484	△ 154	6	161	579	△ 144	24	168
債券	20,834	679	689	10	20,165	481	549	67	21,782	372	493	120
その他	6,200	192	300	108	6,503	△ 53	218	272	6,300	129	289	159
合計	27,691	783	1,002	219	27,152	273	774	500	28,662	357	806	449

時価を把握することが極めて困難なもの	2019年9月期 貸借対照表計上額	2020年3月期 貸借対照表計上額	2020年9月期 貸借対照表計上額
株式	202	202	202
その他	2	1	1
合計	204	204	204

有価証券運用は3億円の含み益を確保しております。

有価証券運用は安全運用を心掛けており、含み益も十分に確保しております。

※満期保有目的及び売買目的の有価証券は該当ありません。



2019年9月期および2020年9月期の計数につきましては、監査法人の監査を受けておりませんので、ご承知下さい。

九州ひぜん信用金庫の活動状況

年度行事

▼ 2020年度 入庫式

2020年度の入庫式を行い、男性職員4名、女性職員3名の総勢7名が我々「ひぜん職員」の仲間入りをしました。



▼ 第69期 通常総代会

2020年6月19日午後3時より、本店3F大会議室において第69期通常総代会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、出席総代数12名、委任状87名での決議となりました。



地域貢献

▼ 社会福祉法人たちばな会様へマスクケースの寄贈

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた支援として社会福祉法人たちばな会様へ抗菌マスクケースを寄贈しました。



▼ 夏休み親子セミナーの開催

日本銀行と九州ひぜん信用金庫の共催で、夏休み親子セミナー「おかね博士になろう」を開催しました。「日本銀行」の役割と「お札の秘密」について楽しく学びました。



トピックス

▼ 給与振込キャンペーン抽選会

佐賀・長崎県内の信用金庫で実施した給与振込キャンペーンのギフト抽選会を当金庫で開催しました。



▼ 事業承継に関する勉強会

佐賀県事業承継ネットワーク事務局の主催で、商工団体と当金庫若手職員との勉強会を3回に分けて実施しました。



店舗一覧

本部	〒843-0024	佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地	☎0954-23-1281
本店営業部	〒843-0024	佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地	☎0954-23-1181
大町支店	〒849-2102	佐賀県杵島郡大町町大字福母381番地1	☎0952-82-3181
白石支店	〒849-1112	佐賀県杵島郡白石町大字福田2276番地5	☎0952-84-4181
嬉野支店	〒843-0301	佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙553番地2	☎0954-42-0181
鹿島支店	〒849-1311	佐賀県鹿島市大字高津原4034番地3	☎0954-62-7181
宮野町支店	〒843-0022	佐賀県武雄市武雄町大字武雄7319番地	☎0954-23-2181
北方支店	〒849-2204	佐賀県武雄市北方町大字大崎1095番地3	☎0954-36-5181
山内支店	〒849-2303	佐賀県武雄市山内町大字三間坂甲13821番地1	☎0954-45-6181
佐世保営業部	〒857-0043	長崎県佐世保市天満町1番15号	☎0956-22-5181
本島支店	〒857-0871	長崎県佐世保市本島町1番6号	☎0956-24-5181
大宮支店	〒857-0841	長崎県佐世保市大宮町8番19号	☎0956-31-6126
俵町支店	〒857-0016	長崎県佐世保市俵町9番12号	☎0956-23-1101
大野支店	〒857-0136	長崎県佐世保市田原町10番12号	☎0956-49-3341
相浦支店	〒858-0918	長崎県佐世保市相浦町1615番地2	☎0956-47-3105
早岐支店	〒859-3215	長崎県佐世保市早岐2丁目3番17号	☎0956-38-3148
大村支店	〒856-0826	長崎県大村市東三城町5番地	☎0957-52-2141
竹松支店	〒856-0805	長崎県大村市竹松本町956番地1	☎0957-55-7144
諫早支店	〒854-0072	長崎県諫早市永昌町18番1号	☎0957-26-3556
西大村支店	〒856-0024	長崎県大村市諏訪1丁目604番地1	☎0957-52-4100



街に笑顔の花咲かせましょう

九州ひぜん信用金庫